

平成22年5月31日

各 位

## インガスコ・インク (INGASCO) 社が Supplier Appreciation Award を連続受賞

大陽日酸株式会社 (社長: 松枝 寛祐) のフィリピン現地子会社である INGASCO, Inc. (以下、INGASCO 社長: 永江 裕) では、Texas Instruments 社より Supplier Appreciation Award を受賞しましたのでお知らせ致します。

### 記

世界的な半導体開発・製造企業である Texas Instruments 社では、毎年同社に対する貢献が顕著であったサプライヤーを表彰しております。今般、同社フィリピン現地法人 (Texas Instruments Philippines 社) の定める CETRAQ (Cost, Environmental responsibility, Technical responsiveness, Assurance of supply, and Quality) という厳しい評価基準に見合う先進技術、高度なサービスの提供、顧客ニーズへの優れた対応等が高く評価されたものとして、INGASCO 社が 2009 年度のトップガスサプライヤーの証である同賞の 5 年連続 5 度目の受賞を果たしました。(2008 年度は、世界的経済不況の影響により当該表彰は見送られました。)

表彰式は、2010 年 4 月 30 日に Clark 市の Hiltop, Mimoso Golf and Country Club にて、約 300 名のサプライヤーが出席し、『SUPPLIER S DAY』のメインイベントとして開催され、INGASCO 社 に記念の盾の授与がありました。

同受賞式では、INGASCO 社が 2009 年の台風 16 号による土砂崩れで、切り立った崖と急カーブと坂が続く難所の国道 (マルコスハイウエー) が通行止めとなった際も、現場で大型タンクローリーから LGC (液化ガス容器) に窒素を移充填しトラック輸送に切り替えて要求通りにガス供給を継続した逸話が特別に紹介されました。マニラ首都圏でも台風 16 号の被害が大きく、いまだに記憶に新しい事から出席者、TI 関係者から大きな拍手をいただきました。

INGASCO の Raymond Chu 副社長からは、“顧客ニーズに応える為に、高品質製品とサービスを安定的に供給できる体制を確立するのが我々の責務であり、その責務を遂行できたことで 5 年連続して素晴らしい評価を頂けたと認識している。”とのコメントがありました。

以 上



昨年の台風 16 号で土砂崩れのあったマルコスハイウェイを慎重に走る INGASCO 社のタンクローリー



左から、インガスコ永江社長、ファティマ営業担当マネージャー、レイモンド副社長

本件に関するお問合せ先

大陽日酸株式会社  
東京都品川区小山 1-3-26  
東洋 Bldg.  
総務本部広報部 田島・鎌田  
TEL 03-5788-8015